花だより 16号

社会福祉法人花

生活介護　でい工房花はな
共同生活援助　ホーム花
桜の家　風の家
短期入所　ショートさくら

〒259-1201
神奈川県平塚市南金目346-1
☎　0463-50-3080
FAX　0463-58-8797

共同生活援助　花の家　花音（かのん）
花凪（かな）の家　花ひらの家
短期入所　ショート凪（なぎ）　咲花（さな）

〒259-1206
神奈川県平塚市真田1-12-29
☎　0463-20-8837
FAX　0463-20-8759

＜発行:令和5年3月＞

あらためて花について

社会福祉法人花
理事長　村上　結

生命は利己的に見えて
その実、利己的ではない
生物は互いに他を支え
律している　つまり利他的で
相補的だ

第一種社会福祉事業（共同生活援助）グループホーム「花・花音」は土日祝日休むことはありません。さらに、お盆も年末も年始もGWも、利用者さんのおられる限り通常通り稼働します。くり返すコロナ感染症・その困難な対応、小さな花はみんなの力をあわせ乗り越えています。

そして、終の棲家として本人・ご家族の意向を大切に最期の瞬間まで普段通り暮らしていただけるよう可能な限り力を尽くします。看取りの際は土曜も祝日も休むことのない第二種社会福祉事業「生活介護」「でい工房花はな」が力強くバックアップします。

2022年4月1日に開所した新たなグループホーム花音2階「花ひらの家」の夕方のリビングには寛ぐ5名の女性入居者（Aさん・Rさん・Nさん・Eさん・Yさん▼ムチ・ムARNEY・笑）の姿があります。リラックス・安心の表情、楽しそうな声、その5名と職員の織りなすハーモニーに触れる度、私は少しの達成感、そして、大きな幸福感に満たされます。

全職員・ひとり一人の力、利用者さんの適応力、家族会や後援会、花に関わり支える全ての力が集まり花は花として存在します。自慢高言バカのうちと言われるのを承知で記しますが、「社会福祉法人花は稀有の存在」だと考えています。健康・衛生・安心安全の要としては、毎週の訪問診療の受入れ、そしてその連携・協力に日頃から力を注いでいます。医師や看護師、医療スタッフと花の職員は、お互いに顔の見える関係の中で、利用者さんの日々の暮らしを支えています。そのおかげで緊急時や重要・重大な局面においても、比較的冷静に落ち着いて対応することが可能となっています。

・・・これまで共に暮らす4人のお仲間を看取りました。昨年3月に亡くなられたYCさんは普段の暮らしそのままに延長線上の眠りにつくような最期を迎えられました。瞬間「自分もこのようなお顔で・・・」と強く感じるほど、おだやかな様子でした・・・これから も花は関わる全ての方々にとって「疑似家族のような温かい場所」であり続けます。

生命の本質は
要素そのものではなく
要素と要素の【あいだ】
に起こる相互作用にある

「動的平衡」福岡伸一

命ふたつの中に生きたる桜かな　芭蕉